第9回川之江地区整備計画推進会議 次第

日時: 令和3年3月29日(月) 19:30~ 場所: 川之江ふれあい交流センター 会議室3

- 1. 開会
- 2. 委員長挨拶
- 3. 議事
 - (1) 令和2年度実施事業について
 - (2) 都市再生整備計画事後評価について
 - (3) その他
- 4. 閉会

令和2年度(令和元年度繰越)実施事業

■ 地域交流センター建設事業

- ・川之江会館事後調査業務【R2.5 完了】
- ・市民会館川之江会館高濃度PCB廃棄物収集・運搬及び処分委託業務【R2.7】
- ・川之江ふれあい交流センター電柱移設工事【R2.7~R2.8】
- ・川之江ふれあい交流センター広場整備工事(2 工区)【R2.3~R2.11】
- ・川之江ふれあい交流センター広場整備工事(3 工区)【R2.6~R3.1】
- ・川之江ふれあい交流センター広場整備工事(4 工区)【R2.8~R3.2】

■ 幼保連携型認定こども園建設事業

- ・川之江保育園解体に係る事後調査及び算定業務【R2.6~R2.8】
- ・川之江認定こども園園庭整備工事(1工区)【R2.3~R2.6】
- ・川之江保育園解体に係る事後調査及び算定業務【R2.6~R2.8】
- ・川之江こども園園庭整備工事(2 工区)【R2.10~R3.2】
- ・川之江こども園植栽工事【R3.2】

■ にぎわい広場整備事業

- ・にぎわい広場整備工事 (4 工区)【R2.3~R2.7】
- ・にぎわい広場外防護柵設置工事【R2.10~R3.1】
- ・にぎわい広場コンセント盤設置工事【R3.2】
- ・にぎわい広場オープニングイベント運営業務【R2.11~R3.1】

■ 駅前広場整備事業

・川之江駅前広場舗装整備工事【R2.11~R3.2】

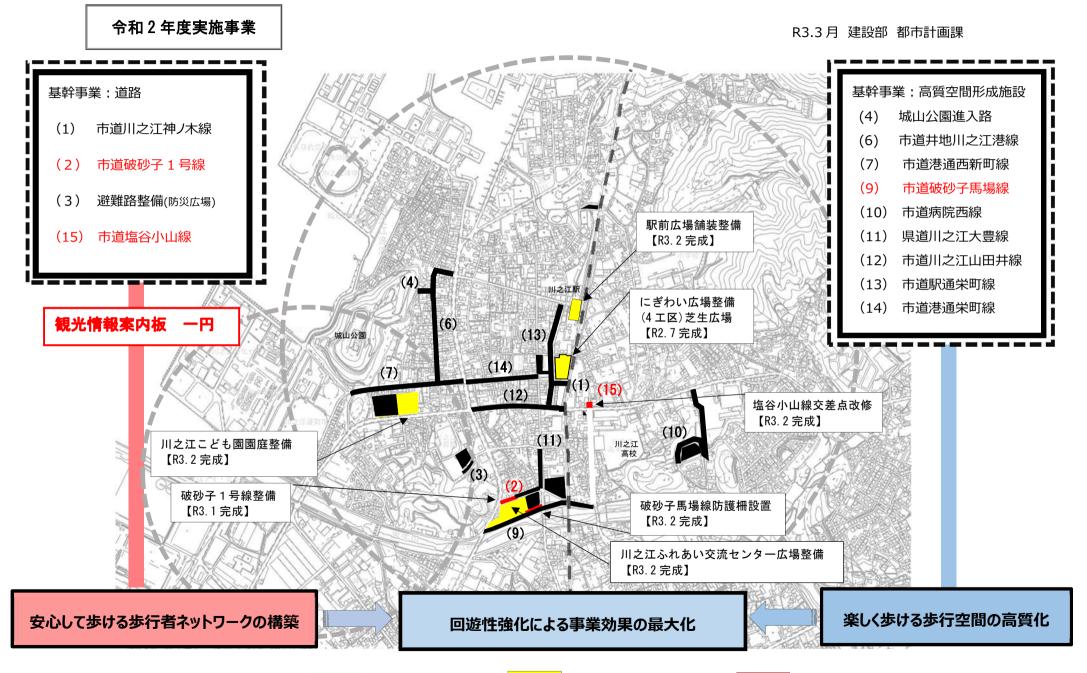
■ 道路整備事業

- ・塩谷小山線埋蔵文化財発掘調査に伴う基礎コンクリート撤去工事【R2.6】
- ・塩谷小山線埋蔵文化財発掘調査に伴う掘削工事【R2.6~R2.8】
- ・塩谷小山線交差点道路改良工事【R2.7~R3.2】
- · 塩谷小山線交差点舗装改良工事【R2.8~R3.2】
- ・市道破砂子1号線道路美装化工事【R2.6~R3.1】 ※川之江ふれあい交流センター広場整備工事(3工区)に含む
- ·市道破砂子馬場線防護柵設置工事【R3.2】

■ その他

- ・川之江地区案内サイン設置工事【R2.3~R2.12】
- ・川之江地区都市再生整備計画事後評価支援業務【R2.11~R3.2】

川之江地区まちづくり計画 広場・道路整備概要



都市再生整備計画 事後評価シート

川之江中心拠点地区 (都市再構築戦略事業(人口密度維持タイプ))

令和3年3月

愛媛県四国中央市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	愛媛県		市町村名四国中央市				地区名		川之	之江中心拠点地区(都市再構等			事業)	面積	130ha		
交付期間	平成27年度~令和元年度		事後評価実施時期 令和2年		令和2年度	交付:		対象事業費 3, 944		百万円 国費		率	0.5				
										'	事業名	名					
1)事業の実施状況	当初計画に 位置づけ、 実施した事業	道路(川之江神ノ木線、破砂子1号線)、広場(にぎわい広場、ポケットパーク、駅前広場)、地域防災施設(防災備蓄倉庫(地域交流センター内)、耐震性貯水槽、マンホールトイレ、かまどベンチ)、観光情報案内板、緑化施設等(城山公園進入路、井地川之江港線、港通西新町線、破砂子馬場線、病院西線、川之江大豊線、川之江山田井線、駅通栄町線、港通栄町線)、高次都市施設(地域交流センター)、中心拠点誘導施設(博物館(収蔵館新規建設)、幼保連携型認定こども園)、既存建造物活用事業(博物館整備)															
		提案事業	事業名						WIRA (Atta o TP +								
			尹未省						削除/追加の理由 当該駐車場は1階部分が月極駐車場、2階部分が月極駐車場と一						削除/追加による目標、指標、数値目標への影響		
	当初計画	基幹事業	駐車場(栄町第1駐車場)						国該駐車場は「暗部ゲか月煙駐車場、2階部ゲか月煙駐車場と一般利用者の無料駐車場となっており、計画では解体し月極の平面駐車場とする方針であったが、街のにぎわい創出のため、既存施設を補修し無料駐車場を残すこととしたため、本事業での整備を取りやめとした。						影響なし		
	から削除した事業		緑化施設等(川之江停車場線、破砂子西新町線)						上水道の耐震化計画があるため、本事業での整備を取りやめ、上 水道整備に合わせた事業実施を検討。						影響あり(指標1の目標値を下方修正)		
			地域生活基盤施設(耐震性貯水槽(防災広場内))						整備地区は地下水が豊富であることから、井戸を掘り、手押しポンプを設置し生活用水を確保することで、耐震性貯水槽の機能を果たせることから、本事業での整備は行わないこととした。						影響なし		
		提案事業		-					_						_		
	新たに追加した事業	基幹事業	道路(塩谷小山線)						まちなかを回遊する上で危険箇所となっている本路線は、通学路 にもなっているため早急に整備し、回遊性向上と通学路の安全を 確保するため、事業に追加。						影響あり(指標1の目標値を上方修正)		
			地域生活基盤施設(川之江高校西交差点ポケットパーク)						地域の歴史・文化資源を活かした回遊機能強化と賑わい再生の 促進を図るため事業を追加。						影響あり(指標1の道路、歩道に対する不満度の減少に寄 与)		
			地域生活基盤施設(マンホールトイレ(地域交流センター広場内))						にぎわい広場内において防災機能を有する倉庫、マンホールトイレを設置する計画であったが、防災機能については地域交流センターに集約することで更に機能強化が図れるため、事業を追加。					影響なし			
		提案事業	_						-					-			
	交付期間 の変更	当初	平成27年度~令和元年度 交付期間の変更による事 指標、数値目標への影					る事業、の影響	_								
	変 更 変 更 指 標		なし 従前						数值		目標 1年以[内の	効果発	現要因	フォローアップ	
2)都市再生整備計画 に記載した目標を 定量化する指標 の達成状況		ſ	単位	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	基準年度		目標年度	モニタリン	グ	評価値	達成度	達成見		(総合		予定時期	
	指標1	道路、歩道に 度	対する不満	%	51.5	H24	38.7	R1	_		34.5	0	あり なし		道路の改築や美装化 ける歩行者空間の確 歩道に対する不満度	保が図られ、道路・	-
	指標2 かわのえ高原 の年間利用延			人/年	7,682	H25	8,500	R1	-		4,765	×	あり なし	•	令和2年7月開館のた 績値を基に年間利用 の遅れや企画の中山 ルス感染症の流行に 値には及ばなかった	数を推計した。開館 等、新型コロナウィ よる影響から目標	令和4年4月頃
	指標3	地域交流セン 利用延べ人		人/年	39,575	H25	53,300	R1	-		55,520	0	あり なし		公共施設の機能の集 が良くなり利用者数の		-
	指標4	にぎわい広 ^均 イベント数	易を使用した	件/年	11	H28	20	R1	_		14	Δ	あり なし	•	令和2年8月供用開始 後の実績値を基に、 推計した。にぎわいが ベント開催の増加が	年間イベント回数を な場の整備により、イ	令和4年4月頃
3)その他の数値指標 (当初設定した数値 目標以外の指標)に よる効果発現状況		指 標	ļ"	単位	従育	ii値 基準年度		票値 目標年度	モニタリン	数値	評価値	目標 達成度※1	1年以 達成見		効果発 (総合		フォローアップ 予定時期
	その他の 数値指標1	公園・緑地に 度	対する不満	%	45.7	基本平及 H24			//		28.9				にぎわい広場やポケより公園・緑地の不満た。	ットパークの整備に	
・中心市街地の道路網の整備により、歩行者・自転車の通行に安全安心度が増した。 ・中心市街地の道路網の整備、博物館、地域交流センターの開設、にぎわい広場、ポケットパーク、防災広場の整備により、都市機能の向上が図られつつある。 ・認定こども園の整備による子育て支援施設の充実や利便性の向上により、まちなか居住の形成に寄与している。 ・防災広場や地域交流センターの防災機能の充実により、中心市街地の防災性の向上が図られつつある。																	
5)実施過程の評価		実施内容					郑市声生教	実施状況						今後の対応方針等			
	モニタリ	ング	なし					都市再生整	整備計画に記載し、実施できた。 整備計画に記載はなかったが、実施した。 整備計画に記載したが、実施できなかった					-			
	住民参ブロセ	・川之江地区整備計画推進会議 ・にぎわい広場整備に関する意見交換会 ・川之江地区まちづくりに関する視察研修					都市再生整 都市再生整 都市再生整	整備計画に配載し、実施できた ・推進会 整備計画に配載はなかったが、実施した ・推進会 整備計画に記載したが、実施できなかった りに際し					会議、意見交換会等計画検討から事業実施に至るまで、住 政とを繋ぐ組織として大きな効果を果たした。 今後のまちづく しても適切な住民参加促進に努める。				
	持続的なま 体制の植	・川之江地区まちづくりサポーター					都市再生整 都市再生整 都市再生整	整備計画に記載し、実施できた 整備計画に記載はなかったが、実施した 整備計画に記載したが、実施できなかった					は地区住民等による主体的な取組みを推進する。				



(改善策を含む)